

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 22 年 4 月 26 日

理事長 間宮 忠敏

訪日外客数・出国日本人数 (2010 年 3 月推計値、1 月暫定値)

Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

◇3 月：訪日外客数 / 前年同月比 24.9%増の 71 万人に……………P3

◇3 月：出国日本人数 / 前年同月比 9.4%増の 155 万 2 千人に……………P3

2010 年 3 月 推計値

頁/Page

◆総括表：2010 年 訪日外客数・出国日本人数 …………… 1-2
 2010 Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

◆解 説：2010 年 3 月 訪日外客数・出国日本人数 …………… 3-14

2010 年 1 月 暫定値

◆数 表：2010 年 1 月 国・地域別/目的別 訪日外客数 (暫定値) …………… 15
 Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Jan. 2010 (provisional)

2010 年 年齢層 / 性別 出国日本人数 (暫定値) …………… 16
 Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2010 (provisional)

2005 年～2009 年 各国・地域別 日本人訪問者数 (受入国統計) …… 17
 Japanese Overseas Travelers by Destination (Visitor Arrivals from Japan) 2005 – 2009

お問い合わせ先：企画部 調査研究グループ

TEL : 03-3216-1905



平成22年 訪日外客数・出国日本人数

2010 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO) 企画部
Corporate Planning Department, Japan National Tourism Organization
Tel: 03-3216-1905

平成22年4月26日
26/Apr/2010

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成21年 2009	平成22年 2010	伸率 Change %	平成21年 2009	平成22年 2010	伸率 Change %
1 Jan.	580,673 (399,352)	640,346 (437,752)	10.3 (9.6)	1,172,539	1,264,299	7.8
2 Feb.	408,628 (256,117)	*665,600	*62.9	1,359,580	*1,290,000	*-5.1
3 Mar.	568,586 (371,017)	*710,200	*24.9	1,419,042	*1,552,000	*9.4
4 Apr.	626,313 (458,192)			1,201,614		
5 May	485,713 (334,957)			1,036,356		
6 June	424,427 (286,981)			947,928		
7 July	632,722 (483,541)			1,276,275		
8 Aug.	679,586 (504,395)			1,516,588		
9 Sept.	535,544 (335,416)			1,590,607		
10 Oct.	655,481 (455,813)			1,364,447		
11 Nov.	565,089 (380,067)			1,279,318		
12 Dec.	626,896 (493,985)			1,281,390		
1~3 Jan.-Mar.	1,557,887 (1,026,486)	*2,016,100	*29.4	3,951,161	*4,106,000	*3.9
1~12 Jan.-Dec.	6,789,658 (4,759,833)			15,445,684		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 平成21年1~12月は確定値、平成22年1月は暫定値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3: 訪日外客数(確定値・暫定値)は法務省資料を基にJNTOが算出し、出国日本人数(確定値・暫定値)は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: 訪日外客(確定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆注5: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Jan. 2010 are provisional, while * stands for the preliminary figures estimated by JNTO.

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice), and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2010年3月 訪日外客数（JNTO推計値）

Visitor Arrivals for Mar. 2010 (Preliminary figures by JNTO)

		総数 Total			総数 Total		
		2009年 3月	2010年 3月	伸率(%)	2009年 1月～3月	2010年 1月～3月	伸率(%)
総数	Grand Total	568,586	710,200	24.9	1,557,887	2,016,100	29.4
韓国	South Korea	108,350	169,400	56.3	345,035	599,500	73.8
台湾	Taiwan	75,391	89,500	18.7	231,665	284,700	22.9
中国	China	100,951	123,500	22.3	274,194	337,300	23.0
香港	Hong Kong	30,519	36,400	19.3	99,190	119,200	20.2
タイ	Thailand	24,025	28,300	17.8	43,312	48,100	11.1
シンガポール	Singapore	9,557	13,500	41.3	23,670	30,900	30.5
豪州	Australia	18,096	20,500	13.3	62,116	68,000	9.5
米国	U.S.A.	64,921	71,600	10.3	151,064	163,900	8.5
カナダ	Canada	14,444	15,100	4.5	36,812	37,700	2.4
英国	United Kingdom	18,837	17,800	-5.5	43,740	45,700	4.5
フランス	France	12,193	13,300	9.1	27,953	30,200	8.0
ドイツ	Germany	11,881	14,200	19.5	26,171	28,400	8.5
その他	Others	79,421	97,100	22.3	192,965	222,500	15.3

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2009年の数値は確定値、2010年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客(確定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2010 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

【訪日外客数】

3月は、前年同月比24.9%増の71万人
～ 5か月連続の増加 ～

2010年3月： 710,200人（前年同月比24.9%増、141,600人増）

2010年1～3月： 2,016,100人（前年同期比29.4%増、458,200人増）

訪日外客数は24.9%増の71万人となった。昨年11月以降、前年同月比5か月連続で増加している。3月としては2008年（731,619人）に次いで多かった。昨年3月には、円高、景気低迷などの影響で訪日客の落ち込みが著しかったが（22.3%減）、本年3月にはその反動が生じた。主要12市場では、英国を除く市場で前年同月を上回った。中国、タイ、フランス、ドイツは3月としては過去最高を記録した。

注： 3月の訪日外客数（年別で多い順）

2008年：731,619人、2010年：710,200人

【要因】 VJCの宣伝、韓国でのテレビドラマの放映、景気の回復基調などが訪日外客増に寄与

- 3月28日の成田空港発着枠拡大（B滑走路延長）に伴い、エティハド航空、エミレーツ航空、マカオ航空が同日、新規就航した。
- 3月11日に茨城空港が開港し、ソウル便が就航した。
- 3月のプラス要因は、上述以外に、広告宣伝活動の強化（韓国、台湾、中国、香港、タイ、シンガポール、豪州、米国、英国、フランス、ドイツなど）、日本を舞台にしたテレビドラマの放映効果（韓国）、旅行会社の広告掲載量増加に伴う訪日旅行の需要喚起（シンガポール）、スキー旅行需要の回復（豪州）、民間企業による訪日懸賞旅行の実施（タイ）、訪日個人観光査証の発給効果（中国）、景気刺激策の効果（中国）、経済状況の好転（台湾、香港、タイ、シンガポール、豪州など）、対円為替レートの回復（豪州、カナダなど）、日本路線の割安運賃の設定（カナダなど）、航空便・航空座席数の増加・回復（韓国、香港、カナダ）、5連休の出現による旅行需要増（香港）、復活祭休暇に合わせた旅行需要の前倒し（フランス、ドイツ）などが挙げられる。
- 一方、3月のマイナス要因は、政情不安（タイ）、航空便・航空座席数の減少（台湾、シンガポール、米国、英国、フランス、ドイツなど）、日本経由需要の減少（カナダ）、ストによる航空便の欠航（英国）、燃油サーチャージ復活の影響（シンガポールなど）などが挙げられる。

【出国日本人数】

3 月は、前年同月比 9.4%増の 155 万 2 千人
～ 2 か月ぶりの増加 ～

2010 年 3 月： 1,552,000 人（前年同月比 9.4%増、133,000 人増）

2010 年 1～3 月： 4,106,000 人（前年同期比 3.9%増、155,000 人増）

出国日本人数は前年同月比 9.4%増の 155 万 2 千人となった。本年 1 月以来、前年同月比で 2 か月ぶりに増加した。但し、3 月としては、過去最高を記録した 2001 年 3 月（1,612,008 人）よりも約 6 万人下回った。

注： 3 月の出国日本人数（年別で多い順）

2001 年：1,612,008 人、2006 年：1,577,432 人、2007 年：1,575,478 人、2000 年：1,573,517 人、

2010 年：1,552,000 人

【要因】 成田空港発着枠の拡大、円の高止まりなどが、海外旅行需要にプラスに作用

- 3 月 28 日の成田空港発着枠拡大（B 滑走路延長）に伴い、エティハド航空、エミレーツ航空、マカオ航空が同日、新規就航した。
- 3 月 11 日に茨城空港が開港し、ソウル便が就航した。
- 多くの主要通貨に対して円が高止まっており、海外旅行に割安感が働いていることがプラスに作用している。
- バンクーバーパラリンピック（冬季パラリンピック第 10 回大会）が 3 月 12 日から 21 日まで開催され、訪加観戦需要が生じた。
- 一方、景気低迷による所得の伸び悩みや、値下げ・廃止されていた燃油サーチャージの復活（昨年 10 月～）などはマイナスに作用している。
- その他、パキスタン各地での爆弾テロ事件発生、イエメンでの治安悪化、ハイチ大地震による被災（日本時間 1 月 13 日～）、ナイジェリア・ジョスでの住民衝突（1 月 17 日）、ペルー・マチュピチュ帯での豪雨被害（1 月 25 日～3 月 28 日）、チリ大地震による被災（2 月 27 日～）、タイの政情不安（3 月中旬～）、アテネの爆弾テロ事件（3 月 28 日）、モスクワ地下鉄爆弾テロ事件（3 月 29 日）などが、局地的な阻害要因となった。

【市場別 訪日外客数（推計値）】

◆韓国

人気テレビドラマによる需要喚起、VJC の宣伝効果などを背景に、訪日客が5割以上増加

3月： 169,400人（前年同月比56.3%増、61,100人増）
1～3月： 599,500人（前年同期比73.8%増、254,500人増）

訪日客は前年同月比56.3%増と大幅な伸びを示した。前年同月比5か月連続の増加となった。昨年11月以降、訪日旅行が回復基調に入っているが、昨年3月の時点では、円高、景気低迷などの影響で訪日客の落ち込みが42.2%減と大きかったため、本年3月には反動となって現れた。

参考： 3月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）
2007年：188,721人、2008年：187,474人、2010年：169,400人

[要因]

- 昨年、韓国で日本の観光名所（秋田市、田沢湖、乳頭温泉、男鹿半島など）を舞台にしたテレビドラマ「アイリス」が放映された影響で、韓国人の個人旅行者や団体ツアー客が多数、撮影地や周辺の観光地を訪れた。相乗効果により、日本各地への旅行も全般的に好調に推移した。

注： 韓国で放映されたドラマ「アイリス」とその効果
韓国のKBSテレビで2009年10月から12月までの間、水・木曜日に全20話で放映されたドラマ。日本の他、中国（上海）、ハンガリー（ブダペスト）でも撮影が行われた。本放映が契機となり、秋田⇄ソウル（仁川）路線はもとより、日韓路線で一般的に韓国人搭乗率が増加した。

- 「Visit Japan Year 2010」のキャンペーンの一環として、本年3月に、映画館、地下鉄駅構内、バス停、新聞、検索サイトなどを通じて広告を実施した。また、昨年11月から本年2月にかけて、テレビ、雑誌への広告や、ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）特設サイトを通じて日本への往復航空券や訪日旅行商品券などが当たるアンケート形式の懸賞を実施した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 2008年10月以降、円高が急激に進み、一時1円=16ウォンを突破したが、2009年4月以降は1円=12～13ウォンの水準で安定しており、心理的な慣れも見られるようになっている。
- 本年1月から3月にかけて、日韓間の航空便で拡大と縮小があった。航空座席供給量は増加しているものの、それを上回る勢いで訪日旅行需要が増加したため、一部で航空座席の不足が生じ、需要に供給が追いつかない状況となっている。

注： 日韓間の航空便の拡大
成田⇄ソウル（仁川） 2010年2月10日から2010年3月23日までの間、週1便から週2便に増便（全日空）
茨城⇄ソウル（仁川） 2010年3月11日、週7便で新規就航（アジアナ航空）
青森⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週4便に増便（大韓航空）
中部⇄ソウル（金浦） 2010年3月28日、週7便で新規就航（済州航空）
中部⇄済州 2010年3月28日以降、週3便から週5便に増便（大韓航空）
関西⇄済州 2010年3月28日以降、週6便から週7便に増便（大韓航空）
福岡⇄釜山 2010年3月29日、週7便で新規就航（エア釜山）

注： 日韓間の航空便の縮小

北九州⇄ソウル（仁川） 2010年1月11日以降、週4便から週3便に減便（済州航空）

関西⇄釜山 2010年1月12日以降、週7便を運休（日本航空）

大分⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週2便に減便（大韓航空）

長崎⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週2便に減便（大韓航空）

<2010年3月の平均為替レート>（出典：三井住友銀行）

1円=12.53韓国ウォン（前年同月より2.31韓国ウォン高）

◆台湾

VJCの宣伝効果、景気の回復などが影響し、訪日客が2割弱増加

3月： 89,500人（前年同月比18.7%増、14,100人増）

1～3月： 284,700人（前年同期比22.9%増、53,000人増）

訪日客は前年同月比18.7%増を記録した。前年同月比2か月連続の増加となった。昨年3月の時点では、円高、景気低迷などの影響で訪日客の落ち込みが21.5%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年3月にはその反動が生じた。但し、1月～3月の訪日客数の累計を市場別に見ると、台湾は中国（大陸）を下回り第3位となっている。

参考： 3月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第5位）

2007年：108,855人、2008年：95,993人、2006年：94,927人、2005年：89,753人、2010年：89,500人

[要因]

- 「Visit Japan Year 2010」のキャンペーンの一環として、本年3月に、桜などをテーマにした新聞、雑誌、検索サイトへの広告や、ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）特設サイトを通じて日本への往復航空券などが当たるアンケート形式の懸賞を実施した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。

- 景気が回復しつつあり、外国旅行需要にもプラスに作用している。

注： 台湾経済部によると、2010年2月の工業生産指数は前年同月比35.2%増となった。また、2010年2月の製造業生産指数は前年同月比36.4%増となった。

- 航空定期便の運休・減便と機材の小型化、日台間で運航されていたチャーター機の中国大陸への振り向けなどの影響で、日台間の航空座席供給量が減少している。但し、本年3月には一部の路線で回復も見られた。

注： 日台間の航空便の縮小

成田⇄台北 2009年12月7日以降、週28便から週21便に減便（日本航空）

また、3月には、エバー航空の福岡便（台北発着）、中華航空の中部、広島、那覇便（台北発着）などで、運休・減便体制が敷かれた。

注： 日台間の航空便の回復

那覇⇄台北 2010年3月28日以降、週11便から週14便に回復（中華航空）

<2010年3月の平均為替レート>（出典：三井住友銀行）

1台湾ドル=2.85円（前年同月より0.01円高）

◆中国

VJCの宣伝効果、個人観光旅行の需要増、中国の景気刺激策などにより、訪日客が2割強増加

3月： 123,500人（前年同月比22.3%増、22,500人増）

1～3月： 337,300人（前年同期比23.0%増、63,100人増）

訪日客は3月としては過去最高を記録した。旧正月該当月の移動など、変則的要因がある月を除いては、近年、増加基調が続いている。なお、1月～3月の訪日客数の累計を市場別に見ると、中国（大陸）は台湾を上回り第2位となっている。

[要因]

- ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の一環として、本年2月から3月にかけて、新聞、雑誌、オフィスビル構内、地下鉄駅構内、大型ショッピングモールなどにおいて、桜などをテーマとして訪日旅行の広告、宣伝を展開した。これにより、訪日旅行需要が底上げされたと考えられる。
- 昨年7月1日に訪日個人観光査証の受付が開始されて以来、個人の旅行形態による訪日旅行需要が創出されている。

注： 外務省によると、訪日個人観光査証の発給件数は、昨年7月から12月までが7,688件、本年1月は3,251件、2月は1,897件、3月は2,784件であった。

- 中国政府は、世界金融危機によって低迷した国内経済を活性化するため、2010年末までの間に総額4兆元（約53兆円）規模を投じる景気刺激策を進めている。その効果もあって、経済状況は2008年の金融危機発生以前の水準まで回復しており、消費意欲も向上している。

注： 中国国家统计局によると、2010年1月～3月の国内総生産（GDP）は前年同期比11.9%増となり、2四半期連続で二桁成長を記録した。

注： 中国国家统计局によると、中国の2010年1月～3月の固定資産投資額は前年同期比25.6%増となった。

注： 中国国家统计局によると、中国の2010年1月～3月の社会消費財小売総額は前年同期比17.9%増となった。

注： 中国国家统计局によると、2010年3月の全国70大中都市不動産販売価格は前年同月比11.7%増と、単月で過去最高の伸率を記録した。

- 昨年10月以降、日中間の航空便で縮小と拡大があったが、全体では航空座席供給量は減少した。

注： 日中間の航空便の縮小

成田⇄上海 2009年10月25日以降、週21便から週14便に減便（全日空）

成田⇄広州 2009年10月25日以降、週14便から週7便に減便（日本航空）

中部⇄広州 2009年10月25日以降、週7便から週4便に減便（日本航空）

関西⇄大連 2009年10月25日以降、週7便を運休（日本航空）

関西⇄広州 2009年10月25日以降、週7便から週3便に減便（日本航空）

成田⇄青島 2009年12月7日以降、週7便を運休（日本航空）

成田⇄杭州 2009年12月7日以降、週7便を運休（日本航空）

成田⇄アモイ 2009年12月7日以降、週3便を運休（日本航空）

関西⇄杭州 2009年12月7日以降、週7便を運休（日本航空）

成田⇄上海（浦東） 2010年1月18日から3月27日まで、週28便から週21便に減便（日本航空）

中部⇄重慶 2010年3月28日以降、週7便を運休（中国国際航空）

関西⇄青島 2010年3月28日以降、週7便から週4便に減便（全日空）

関西⇄アモイ 2010年3月28日以降、週4便を運休（全日空）

注： 日中間の航空便の拡大

羽田⇄北京 2009年10月25日、週7便で定期チャーター便の運航開始（日本航空）

羽田⇄北京 2009年10月25日、週7便で定期チャーター便の運航開始（全日空）
 羽田⇄北京 2009年10月25日、週14便で定期チャーター便の運航開始（中国国際航空）
 中部⇄南京 2009年10月28日、週2便で新規就航（中国東方航空）
 新千歳⇄上海 2010年3月28日以降、週3便から週4便に増便（中国東方航空）
 成田⇄上海 2010年3月28日以降、週14便から週21便に増便（全日空）
 静岡⇄上海 2010年3月28日以降、週2便から週4便に増便（中国東方航空）
 中部⇄成都 2010年3月28日、週7便で新規就航（中国東方航空）
 福岡⇄広州 2010年3月28日以降、週2便から週3便に増便（中国東方航空）

- 中台直行便の就航を機に訪台ツアーの選択肢が増加し、価格も低廉化している。中台双方が中国人の台湾旅行を促進していることもあり、旅行先として台湾が定着しつつある。

注： 2009年8月31日以降、中台間の航空便がこれまでの定期チャーター便から正式に定期便化し、また、運航便数も週108便から270便へと倍増した。但し、その後、台湾と中国大陸の地方都市を結ぶ一部の定期便では搭乗率が不調で、減便も行われた。

◆香港

連続休暇時の旅行需要増、VJCの宣伝効果、航空便の拡大などにより、訪日客が約2割増加

3月： 36,400人（前年同月比19.3%増、5,900人増）
 1～3月： 119,200人（前年同期比20.2%増、20,000人増）

訪日客は前年同月比19.3%増を記録した。前年同月比2か月連続の増加となった。昨年3月の時点では、円高、景気低迷などの影響で訪日客の落ち込みが37.8%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年3月にはその反動が生じた。

参考： 3月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）
 2008年：49,035人、2010年：36,400人

[要因]

- 暦の関係で、本年の復活祭（イースター）休暇と清明節の祝日が重なり、4月2日から6日まで5連休となった。これに有給休暇を加えて、3月末から外国旅行に出掛ける需要が生じた。

注： 本年の復活祭休暇は4月2日（金）から4月5日（月）、清明節は4月6日（火）であった。

- 「Visit Japan Year 2010」のキャンペーンの一環として、本年3月に、香港の地上波テレビで約200回にわたる広告を実施した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 日香間、日・マカオ間の航空便が本年3月に拡充された。

注： 日香間、日・マカオ間の航空便の拡大
 新千歳⇄香港 2010年3月28日以降、週2便から週4便に増便（香港エクスプレス航空）
 成田⇄マカオ 2010年3月28日、週3便で新規就航（マカオ航空）
 →香港から訪日旅行をする際、マカオ経由便も利用されている。

- 景気が回復しつつあり、外国旅行需要にもプラスに作用している。

注： 香港政府統計処によると、2010年2月の小売売上高は前年同月比35.8%増となった。

注： 香港政府統計処によると、2009年12月～2010年2月期の失業率は4.6%で、2008年11月～2009年1月期以来、1年ぶりの低水準となった。

<2010年3月の平均為替レート> (出典：三井住友銀行)
1 香港ドル=11.67 円 (前年同月より 0.97 円高)

◆タイ

VJC の宣伝効果、経済の回復、企業の日本懸賞旅行付き販促キャンペーンの実施などが影響し、訪日客が過去最高

3月： 28,300 人 (前年同月比 17.8%増、4,300 人増)
1~3月： 48,100 人 (前年同期比 11.1%増、4,800 人増)

訪日客は3月としては過去最高を記録した。また、本年1月以来、前年同月比で2か月ぶりに増加した。

[要因]

- ビジット・ジャパン・キャンペーン (VJC) の一環として、昨年下半期から本年1月にかけて、新聞、雑誌、オンライン、市内高架鉄道駅構内などにおける広告宣伝事業を展開した。訪日旅行需要を下支えする要因となった。
- 昨年第4四半期以降、タイ経済が回復に向かっている。個人消費意欲も高まっており、外国旅行市場に好影響を及ぼしている。

注： タイ中央銀行によると、2010年2月の民間消費指数は前年同月比9.7%増、民間投資指数は同11.4%増、工業生産指数は同30.3%増を記録した。

注： タイ工業連盟によると、2010年2月の自動車生産台数は、前年同月比109%増の12万8千台となった。

- 日本への懸賞旅行が当たる販促キャンペーンを、タイの民間企業が本年2月以降展開している。これにより、タイ人の間で訪日旅行需要が創出された。

注： カルピス、CP 明治乳業などの企業が同キャンペーンを展開しており、店頭、高架鉄道駅、ウェブサイトを通じて宣伝している。

- タイ国内で政情不安が続いており、外国旅行意欲の減退要因となっている。

注： タイ政府は2010年3月11日以降、一部の交通手段の制限や移動規制などを内容とする国内治安維持法をバンコクなどに適用している。

<2010年3月の平均為替レート> (出典：三井住友銀行)
1 タイバーツ=2.79 円 (前年同月より 0.04 円安)

◆シンガポール

VJC の宣伝効果、景気回復、桜見物の需要増などにより、訪日客が4割増

3月： 13,500 人 (前年同月比 41.3%増、3,900 人増)
1~3月： 30,900 人 (前年同期比 30.5%増、7,200 人増)

訪日客は前年同月比4割増を記録した。前年同月比2か月連続の増加となった。昨年3月の時点では、円高、景気低迷などの影響で訪日客の落ち込みが32.6%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年3月にはその反動が生じた。

参考： 3月の訪日客数 (年別で多い順、2010年は第2位)
2008年：14,176人、2010年：13,500人

[要因]

- ビジット・ジャパン・キャンペーン (VJC) の一環として、昨年 11 月末から本年 1 月末にかけて、「Visit Japan Year 2010」のキャンペーンの一環として、VJC 特設サイトを通じて日本への往復航空券などが当たる懸賞を実施した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 景気が回復に向かっており、外国旅行に対して負担感が和ぎつつある。昨年低迷していた訪日商用需要も、回復基調にあるものと思われる。

注： シンガポール経済開発庁によると、2010 年 2 月の製造業生産高指数 (2007 年=100、速報値) は前年同月比 19.1% 増の 100.9 となった。2009 年 12 月以降、前年同月比で 3 か月連続の二桁成長を続けている。

注： シンガポール統計局によると、2010 年 1 月の小売売上高指数 (2005 年=100) は前年同月比 2.3% 増の 117.3 となり、前月 (2009 年 12 月) の 4.9% 減からプラスに転じた。前年同月比の増加は 2008 年 9 月以来、1 年半ぶりとなる。

- シンガポールの旅行会社は、日本での桜見物 (3 月下旬~4 月上旬) を特集した広告を、本年 1 月から新聞紙面などで開始したが、広告が例年以上に出回ったこともあり、桜見物を目的にした訪日旅行需要が増加したものと思われる。
- 昨年 10 月から燃油サーチャージが復活し、日系・米系航空会社で往復 6 千円、シンガポール系航空会社で往復 1 万 2 千円加算されるようになり、航空運賃が 15%~25% 値上がりした。
- 日本⇄シンガポール間の航空座席供給量が減少傾向にある。特に日本航空の関西便の運休により、同路線はシンガポール航空のみとなり、予約が取りづらい状況が続いている。

注： 日本⇄シンガポール間の航空座席供給量の減少

成田⇄バンコク⇄シンガポール 2009 年 8 月 2 日以降、週 5 便を運休 (シンガポール航空)

成田⇄シンガポール 2009 年 10 月 25 日以降、航空機材を小型化した。月間で約 3 千席の減少となる。(日本航空)

関西⇄シンガポール 2010 年 1 月 17 日以降、週 7 便を運休。月間で約 7 千席の減少となる。(日本航空)

<2010 年 3 月の平均為替レート> (出典：三井住友銀行)

1 シンガポールドル=64.67 円 (前年同月より 0.64 円安)

◆豪州

VJC の宣伝効果、景気回復、スキー旅行需要増などにより、訪日客が 1 割増

3 月： 20,500 人 (前年同月比 13.3% 増、2,400 人増)

1~3 月： 68,000 人 (前年同期比 9.5% 増、5,900 人増)

訪日客は前年同月比 13.3% 増を記録した。前年同月比 2 か月連続の増加となった。昨年 3 月の時点では、円高、景気低迷などの影響で訪日客の落ち込みが 19.0% 減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年 3 月にはその反動が生じた。

参考： 3 月の訪日客数 (年別で多い順、2010 年は第 2 位)

2008 年：22,346 人、2010 年：20,500 人

[要因]

- ビジット・ジャパン・キャンペーン (VJC) の一環として、昨年 11 月後半から本年 2 月にかけて、テレビ広告や検索サイトのバナー広告などを通じて、訪日旅行の宣伝を集中的に展開した。これにより、訪日旅行意欲が高まっているも

のと考えられる。

- 豪州政府の緊急景気対策などが奏功し、景気が回復基調にある。新車販売台数など個人高額消費も回復しており、外国旅行需要にもプラスに作用しているものと考えられる。

注： 豪州連邦準備銀行は、政策金利を2009年10月から3か月連続で切り上げた。3か月連続の切り上げは過去に例がないことであった。2010年3月にも更に切り上げを行い、政策金利は4%となった。

注： 豪州連邦自動車産業会議所によると、2010年3月の新車販売台数は前年同月比25.2%増の9万4,744台と大幅な伸びを示した。

- 昨年、景気低迷の影響で落ち込んだ訪日スキー旅行需要が、本年は景気回復、豪ドル高、VJCによる情報発信、良好な積雪状況により回復している。本格的なスキーシーズンである3月の訪日客増に寄与した。
- 豪ドルの対円為替レート（月間平均）が、昨年3月の1豪ドル=65円台から、本年3月には1豪ドル=82円台へと、円安豪ドル高で進んでおり、訪日旅行に対して割安感が感じられるようになっている。

<2010年3月の平均為替レート>（出典：三井住友銀行）

1豪ドル=82.55円（前年同月より17.51円安）

◆米国

VJCの宣伝効果、景気の緩やかな回復などが影響し、訪日客が1割増

3月： 71,600人（前年同月比10.3%増、6,700人増）

1～3月： 163,900人（前年同期比8.5%増、12,800人増）

訪日客は昨年11月以降、前年同月比5か月連続で増加している。昨年3月の訪日客数は世界金融危機の影響で大幅に落ち込んだが、本年3月はその反動で伸びが大きく現れている。但し、3月として過去最高を記録した2008年（82,222人）の水準にまでは達していない。

参考： 3月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第5位）

2008年：82,222人、2005年：80,916人、2007年：75,991人、2006年：73,875人、2010年：71,600人

[要因]

- デジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の一環として、昨年10月から本年2月にかけて、新聞、旅行雑誌、検索サイトなどを通じ、訪日旅行に関する広告を行った。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 失業率の高止まりに見られるとおり、景気は完全には回復していないものの、消費が一部で上向き傾向を示すなど、好転の兆しも見られている。旅行需要においても、一般消費者の観光旅行や企業の出張の需要の底上げにつながっているものと考えられる。

注： 米国商務省によると、3月の米国の小売売上高（速報値）は前年同月比7.6%増となり、6か月連続でプラスとなった。

注： 米国の調査会社「オート・データ」によると、2010年3月の自動車販売台数は前年同月比24.3%増となった。2009年12月以降、4か月連続で前年同月比プラスを記録した。

注： 米国労働省によると、2010年3月の失業率は前月比横ばいの9.7%と、依然高い水準になっている。（米国の失業率は、2009年4月8.9%、5月9.4%、6月9.5%、7月9.4%、8月9.7%、9月9.8%、10月10.2%、11月10.0%、

12月10.0%、2010年1月9.7%、2月9.7%、3月9.7%であった。)

- 昨年10月に日米間の航空便数が減少するとともに、一部路線で航空機材が小型化された。本年3月から航空便の一部が再開されているものの、航空座席供給量は昨年3月に比べて全般的に縮小している。旅行需要が回復しつつある中、座席の確保が困難な状況も現れている模様である。

注： 日米間の航空便の縮小

成田⇄ソルトレイクシティ 2009年10月4日以降、週4便を運休していたが、2010年3月28日以降、週1便で運航を再開（デルタ航空）

成田⇄サンフランシスコ 2009年10月25日以降、週14便から週7便に減便（ユナイテッド航空）

関西⇄サンフランシスコ 2009年10月25日から2010年3月27日まで、週7便から週5便に減便していたが、2010年3月28日以降、週7便に回復（ユナイテッド航空）

注： 日米間の航空機材の変更

成田⇄シカゴ 2009年10月25日以降、航空機材を小型化（日本航空）

成田⇄ロサンゼルス 2009年10月25日以降、航空機材を小型化（日本航空）

<2010年3月の平均為替レート>（出典：三井住友銀行）

1米ドル=90.54円（前年同月より7.46円高）

◆カナダ

航空便の新規就航、割安航空券の販売などが送客を下支えし、訪日客が増加

3月： 15,100人（前年同月比4.5%増、700人増）

1～3月： 37,700人（前年同期比2.4%増、900人増）

訪日客は前年同月比4.5%増を記録した。前年同月比2か月連続の増加となった。昨年3月の訪日客数は世界金融危機の影響で大幅に落ち込んだが、本年3月はその反動が現れた。

参考： 3月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）

2008年：18,966人、2007年：15,964人、2010年：15,100人

[要因]

- 本年3月に日加間で新規航空便が就航した。これを記念して、割安の就航記念運賃が提示された。また、日加間を運航するその他の航空会社において、本年3月に航空券の安売り競争が継続された。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。

注： 日加間の航空便の拡大

成田⇄カルガリー 2010年3月28日、週3便で新規就航（エア・カナダ）

注： 日加間の割安航空運賃

エア・カナダは成田⇄カルガリー路線の新規就航を記念して、598カナダドルの割安運賃を設定した。また、2010年1月以降、成田⇄トロント路線などで、748カナダドルの格安航空運賃を設定している。一方、日本航空は2010年1月以降、成田⇄バンクーバー路線などで、750カナダドル等の格安航空運賃を設定している。

- カナダドルの対円為替レート（月間平均）が、昨年3月の1カナダドル=77円台から、本年3月には1カナダドル=88円台へと、円安カナダドル高で進んでおり、訪日旅行に対して割安感が感じられるようになっている。
- 日系航空会社が昨年冬期スケジュール（10月25日）以降、成田を經由してアジア主要都市へ向かう接続便を減らしたため、アジア系（インド系、中国系など）のカナダ人の日本経由需要が全般的に減少している。

注： 成田經由アジア行き航空便の縮小

成田⇄デリー 2009年10月25日以降、週7便から週3便に減便（日本航空）

成田⇄広州 2009年10月25日以降、週14便から週7便に減便（日本航空）

<2010年3月の平均為替レート>（出典：三井住友銀行）

1カナダドル=88.35円（前年同月より10.86円安）

◆英国

ストによる航空便の運航取り消し、航空便の縮小などが影響し、訪日客が減少

3月： 17,800人（前年同月比5.5%減、1,000人減）

1～3月： 45,700人（前年同期比4.5%増、2,000人増）

訪日客は前年同月比で2か月ぶりに減少した。近年、減少基調が続いている。3月として過去最高を記録した2008年（22,912人）の水準にまでは達していない。

参考： 3月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第9位）

2008年：22,912人、2005年：22,172人、2007年：21,935人、2002年：20,811人、2003年：20,696人、

2001年：19,813人、2006年：19,438人、2009年：18,837人、2010年：17,800人

[要因]

- 本年3月に英国系航空会社でストライキがあり、当該期間中、日英間の航空便の運航が取り消された。

注： 2010年3月21日から3月23日にかけて、英国航空の成田⇄ロンドン便が3便、運航を取り消した。これにより、合計で約920座席分の需要が失われた。

- 日英間の航空座席供給量が昨年12月に縮小した。

注： 日英間の航空座席供給量の縮小

成田⇄ロンドン 2009年12月7日以降、週14便から週7便に減便（日本航空）

- ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の一環として、昨年9月から10月にかけて、地下鉄駅構内、新聞・雑誌等において、訪日旅行に関する広告を行った。また、本年1月から2月にかけて、VJC特設サイトを通じて訪日旅行商品などが当たる懸賞を実施した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。

<2010年3月の平均為替レート>（出典：三井住友銀行）

1英ポンド=136.36円（前年同月より2.70円高）

◆フランス

復活祭休暇前の旅行需要増、VJCの宣伝などにより、訪日客が過去最高を記録

3月： 13,300人（前年同月比9.1%増、1,100人増）

1～3月： 30,200人（前年同期比8.0%増、2,200人増）

訪日客は3月としては過去最高を記録した。昨年12月以降、前年同月比4か月連続で増加している。

[要因]

- 本年の復活祭（イースター）休暇は4月の第1週目にあつたが、3月の最終週から訪日旅行を含む長距離旅行に出掛ける旅行者が多かった。

- ビジット・ジャパン・キャンペーン (VJC) の一環として、昨年 7 月に JNTO フランス語ウェブサイトでグルメ欄を開設した。この中で、訪日旅行の懸賞付きアンケート・キャンペーンを実施し、訪日旅行への関心を喚起した。なお、本キャンペーンの応募者数は本年 2 月末までの間で 2 万 5 千人を超えた。
- 昨年 10 月に日仏航空路線で、日系航空会社による減便措置が取られた。

注： 日仏間の航空便の縮小

中部⇄パリ 2009 年 10 月 25 日以降、週 7 便を運休（日本航空）

<2010 年 3 月の平均為替レート>（出典：三井住友銀行）

1 ユーロ=122.96 円（前年同月より 4.58 円高）

◆ドイツ

復活祭休暇前の旅行需要増、訪日旅行のテレビ番組放映効果などにより、訪日客が過去最高を記録

3 月： 14,200 人（前年同月比 19.5%増、2,300 人増）

1～3 月： 28,400 人（前年同期比 8.5%増、2,200 人増）

訪日客は 3 月としては過去最高を記録した。2008 年 9 月以降、減少基調が続いていたが、傾向が一転した。

[要因]

- 本年の復活祭（イースター）休暇は 4 月の第 1 週目にあつたが、3 月の最終週から訪日旅行を含む長距離旅行に出掛ける旅行者が多かった。
- JNTO が協力したメディア招請事業の結果、ドイツのゴールデンタイムに訪日観光の紹介番組が放映された。訪日旅行意欲が高まったものと考えられる。

注： ドイツのテレビ局「3 SAT」の番組「遠い世界への旅 - 日本」で、2010 年 1 月 1 日のゴールデンタイムに 45 分間放映された。東京、富士山、京都、長崎、熊本、沖縄などの観光魅力が紹介され、約 250 万人が視聴した。

- 航空機材の変更により、日独間の航空座席数が昨年 9 月から減少している。

注： 成田⇄フランクフルト 2009 年 9 月 1 日以降、航空機材の変更により、座席数が 287 席から 247 席に減少（全日空）

2010年1月 国籍別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)

Visitor Arrivals by Nationality & Purpose of Visit for Jan. 2010 (provisional figures)

作成: 日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourism Organization

		総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2009年 1月 Jan.	2010年 1月 Jan.	伸率 % Change	2009年 1月 Jan.	2010年 1月 Jan.	伸率 % Change	2009年 1月 Jan.	2010年 1月 Jan.	伸率 % Change	2009年 1月 Jan.	2010年 1月 Jan.	伸率 % Change
総数	Grand Total	580,673	640,346	10.3	399,352	437,752	9.6	81,045	105,349	30.0	100,276	97,245	-3.0
アジア	Asia Total	433,243	493,088	13.8	311,002	355,730	14.4	47,601	66,034	38.7	74,640	71,324	-4.4
韓国	South Korea	129,756	232,053	78.8	92,764	189,639	104.4	19,235	26,102	35.7	17,757	16,312	-8.1
台湾	Taiwan	97,026	89,849	-7.4	88,010	78,455	-10.9	4,855	7,313	50.6	4,161	4,081	-1.9
中国	China	110,262	92,120	-16.5	60,716	39,775	-34.5	11,861	17,262	45.5	37,685	35,083	-6.9
香港	Hong Kong	46,555	30,522	-34.4	44,162	27,628	-37.4	1,907	2,417	26.7	486	477	-1.9
タイ	Thailand	8,724	9,881	13.3	5,269	5,902	12.0	1,797	2,062	14.7	1,658	1,917	15.6
シンガポール	Singapore	9,058	6,577	-27.4	7,486	4,292	-42.7	1,227	1,975	61.0	345	310	-10.1
マレーシア	Malaysia	6,195	4,689	-24.3	4,212	2,174	-48.4	1,218	1,718	41.1	765	797	4.2
フィリピン	Philippines	6,655	6,532	-1.8	2,009	1,724	-14.2	1,253	1,365	8.9	3,393	3,443	1.5
インドネシア	Indonesia	2,968	3,735	25.8	1,270	1,676	32.0	541	776	43.4	1,157	1,283	10.9
インド	India	5,325	5,758	8.1	1,300	1,027	-21.0	1,648	2,319	40.7	2,377	2,412	1.5
ベトナム	Vietnam	2,405	2,737	13.8	592	463	-21.8	329	532	61.7	1,484	1,742	17.4
イスラエル	Israel	556	715	28.6	137	211	54.0	364	428	17.6	55	76	38.2
その他アジア	Asia Unclassified	7,758	7,920	2.1	3,075	2,764	-10.1	1,366	1,765	29.2	3,317	3,391	2.2
ヨーロッパ	Europe Total	51,124	51,228	0.2	25,671	23,379	-8.9	15,558	17,639	13.4	9,895	10,210	3.2
英国	United Kingdom	13,598	12,261	-9.8	7,488	5,400	-27.9	3,436	4,168	21.3	2,674	2,693	0.7
フランス	France	8,154	8,218	0.8	3,883	3,549	-8.6	2,324	2,793	20.2	1,947	1,876	-3.6
ドイツ	Germany	6,503	6,899	6.1	2,098	2,022	-3.6	3,379	3,724	10.2	1,026	1,153	12.4
イタリア	Italy	2,711	3,528	30.1	1,249	1,839	47.2	1,018	1,166	14.5	444	523	17.8
ロシア	Russia	4,688	4,119	-12.1	3,133	2,658	-15.2	652	741	13.7	903	720	-20.3
スペイン	Spain	1,360	1,767	29.9	775	1,105	42.6	279	343	22.9	306	319	4.2
オランダ	Netherlands	2,013	1,995	-0.9	1,089	940	-13.7	760	880	15.8	164	175	6.7
スウェーデン	Sweden	1,827	1,904	4.2	830	806	-2.9	720	733	1.8	277	365	31.8
スイス	Switzerland	1,175	1,317	12.1	659	731	10.9	380	443	16.6	136	143	5.1
フィンランド	Finland	1,260	1,193	-5.3	852	808	-5.2	315	286	-9.2	93	99	6.5
ベルギー	Belgium	775	895	15.5	288	320	11.1	358	427	19.3	129	148	14.7
オーストリア	Austria	869	886	2.0	344	391	13.7	247	286	15.8	278	209	-24.8
デンマーク	Denmark	911	906	-0.5	451	418	-7.3	388	385	-0.8	72	103	43.1
アイルランド	Ireland	977	827	-15.4	421	348	-17.3	293	239	-18.4	263	240	-8.7
ノルウェー	Norway	770	729	-5.3	471	406	-13.8	246	224	-8.9	53	99	86.8
ポルトガル	Portugal	588	524	-10.9	489	409	-16.4	62	72	16.1	37	43	16.2
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	2,945	3,260	10.7	1,151	1,229	6.8	701	729	4.0	1,093	1,302	19.1
アフリカ	Africa Total	1,612	1,609	-0.2	329	286	-13.1	387	432	11.6	896	891	-0.6
北アメリカ	North America Total	62,230	61,695	-0.9	35,450	32,086	-9.5	15,122	18,180	20.2	11,658	11,429	-2.0
米国	U.S.A.	47,306	48,643	2.8	24,378	23,244	-4.7	13,643	16,254	19.1	9,285	9,145	-1.5
カナダ	Canada	13,520	11,132	-17.7	10,290	7,832	-23.9	1,249	1,526	22.2	1,981	1,774	-10.4
メキシコ	Mexico	981	1,374	40.1	676	881	30.3	145	277	91.0	160	216	35.0
その他北アメリカ	North America Unclassified	423	546	29.1	106	129	21.7	85	123	44.7	232	294	26.7
南アメリカ	South America Total	2,073	2,587	24.8	1,004	1,185	18.0	357	543	52.1	712	859	20.6
ブラジル	Brazil	1,066	1,377	29.2	507	597	17.8	302	337	66.8	357	443	24.1
その他南アメリカ	South America Unclassified	1,007	1,210	20.2	497	588	18.3	155	206	32.9	355	416	17.2
オセアニア	Oceania Total	30,319	30,096	-0.7	25,834	25,053	-3.0	2,016	2,517	24.9	2,469	2,526	2.3
豪州	Australia	26,919	26,904	-0.1	23,409	23,001	-1.7	1,713	2,082	21.5	1,797	1,821	1.3
ニュージーランド	New Zealand	3,085	2,942	-4.6	2,261	1,974	-12.7	272	387	42.3	552	581	5.3
その他オセアニア	Oceania Unclassified	315	250	-20.6	164	78	-52.4	31	48	54.8	120	124	3.3
無国籍・その他	Stateless	72	43	-40.3	62	33	-46.8	4	4	0.0	6	6	0.0

◆注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客（一時上陸客）を加えた入国外国人旅行者のことであり、「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

◆注3: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

2010年 年齢層 / 性別 出国日本人数

Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2010

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率	構成比
	Jan.	Chg %	Feb.	Chg %	Mar.	Chg %	Apr.	Chg %	May	Chg %	June	Chg %	July	Chg %	Aug.	Chg %	Sept.	Chg %	Oct.	Chg %	Nov.	Chg %	Dec.	Chg %	Cumulative	Chg %	Share %
総数 (Total)	1,264,299	7.8																							1,264,299	7.8	100.00
男性 (Male)	701,815	11.7																							701,815	11.7	55.51
0~4	9,760	-8.2																							9,760	-8.2	0.77
5~9	11,305	-9.6																							11,305	-9.6	0.89
10~14	9,902	-5.5																							9,902	-5.5	0.78
15~19	10,331	-18.4																							10,331	-18.4	0.82
20~24	22,315	-0.9																							22,315	-0.9	1.77
25~29	42,718	3.2																							42,718	3.2	3.38
30~34	62,879	6.6																							62,879	6.6	4.97
35~39	79,841	10.5																							79,841	10.5	6.32
40~44	83,318	14.0																							83,318	14.0	6.59
45~49	81,900	18.5																							81,900	18.5	6.48
50~54	71,413	15.6																							71,413	15.6	5.65
55~59	65,148	9.2																							65,148	9.2	5.15
60~64	73,669	21.3																							73,669	21.3	5.83
65~69	41,515	18.5																							41,515	18.5	3.28
70~	35,801	30.6																							35,801	30.6	2.83
不詳 (Unknown)	0	-																							0	-	0.00
女性 (Female)	562,484	3.4																							562,484	3.4	44.49
0~4	9,211	-11.6																							9,211	-11.6	0.73
5~9	11,121	-7.4																							11,121	-7.4	0.88
10~14	9,702	-7.6																							9,702	-7.6	0.77
15~19	14,068	-10.6																							14,068	-10.6	1.11
20~24	53,220	1.9																							53,220	1.9	4.21
25~29	70,814	0.2																							70,814	0.2	5.60
30~34	65,235	-2.7																							65,235	-2.7	5.16
35~39	57,580	-0.8																							57,580	-0.8	4.55
40~44	43,409	1.5																							43,409	1.5	3.43
45~49	36,707	5.4																							36,707	5.4	2.90
50~54	37,514	3.1																							37,514	3.1	2.97
55~59	42,961	3.4																							42,961	3.4	3.40
60~64	52,286	21.2																							52,286	21.2	4.14
65~69	31,850	18.0																							31,850	18.0	2.52
70~	26,806	22.5																							26,806	22.5	2.12
不詳 (Unknown)	0	-																							0	-	0.00

◆注：本資料を引用される際は、作成名・出典名の両方を明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to the compiler and source is mandatory.

作成：日本政府観光局(JNTO) / 出典：法務省

Compilation: Japan National Tourism Organization; Source: Ministry of Justice

